

統合再編に関する今後の進め方についての説明会（令和8年4月15日、21日）
教育委員会からの説明及び説明会とアンケートフォームで出された質問への回答（4月20日分まで）

これまでの経緯・今後の方針について説明（教育政策課）

■経緯

- ・令和8年奈良市議会3月定例会において、鼓阪小学校と佐保小学校の統合再編に関する予算を提出したが、一部否決となった。
- ・否決となった予算は学校規模適正化推進経費（新規予算）のうち、閉校記念品、行事用消耗品と閉校記念誌に加え遠距離通学児童生徒通学対策経費（新規予算）のスクールバス関連経費である。
- ・否決となった主な意見は、合意形成が十分に図られていない。統合再編に反対されている保護者の立場を考えると時期尚早である。学校設置条例改正案と合わせて関連予算も改めて審議していきたい。などであった。
- ・一方でスクールバスの予算に関しては、バスの手配が間に合わなければ、子どもたちに直接影響が及ぶという危険性を考慮し賛成したとの意見もあった。

■今後の進め方について

- ・令和8年奈良市議会6月定例会に、新小学校開校に関する学校設置条例とあわせてスクールバス関連費用等について提出していく。
- ・「通学路・校章・校歌等」の協議については引き続き令和9年4月の開校に向けて取り組んでいく。
- ・新校舎建設は順調に進んでおり、令和9年3月には完成予定である。
- ・今後は新しい学校でおこなう教育面等についても、両校と調整し説明会を開催する予定である。

スクールバスの運行について説明（教育総務課）

■スクールバスについての説明の経緯

- ・令和5年2月には、公共交通機関（路線バス）による通学を提案していたが、路線バスでは乗り換えが発生し不便であるとのご意見をいただき、令和5年9月にスクールバス（ミニバンタイプ）を運行する方針に変更した。
- ・令和7年10月に、スクールバスの具体的な運行案として、10人乗り車両3台による、2巡運行案を提案した。その際に、渋滞時にダイヤ通り運行できるか、2巡目に希望が偏るのではないかと、子どもがバスに乗ったか確認したいなどのご意見をいただいた。
- ・それらのご意見を基に、令和8年2月、渋滞時に2巡目の運行が学校に遅れるリスクに備え、マイクロバス1巡運行に改善するとともに、子どもの乗車確認のためアプリを導入し運行状況や乗車状況の見える化を図った。
- ・しかしながら、スクールバス関連予算は否決となった。

■今後の進め方について

- ・令和8年6月定例会に改めてスクールバス関連予算を提出し、これまで説明してきた内容を維持した運行ができるよう尽力する。
- ・令和8年2月の説明会では、「今後の説明会の日程を可能な限り示してほしい。」「通学距離に関係なく低学年だけでも乗車できないか。」などのご意見があった。
- ・今後も保護者の皆様と双方向のやり取りし、運行案を改善しながら安心して開校を迎えられるよう進めていく。
- ・在校生への乗車希望調査を早期に実施し、対象児童の拡大が可能であるか検討する。

■登下校時の児童の送迎について

- ・スクールバスの乗車対象は、原則片道2kmを基本の基準とするが、鼓阪地区の事情を考慮し、片道1.8km以上の児童とする。

■運行ダイヤについて

- ・下校便は基本的に登校時と同様のルートと乗降場所で運行予定。
- ・下校時間帯ごとに、学校から乗降場所に帰ってくることを想定。（低学年用、高学年用の2便2ルート運行予定）
- ・バンビーホームを利用し、17時までには下校する児童を対象に、バンビー下校便を運行予定。ただし、対象となる児童の乗降場所に応じてルートや運行時間を調整する予定。

■スクールバス運行までのスケジュールについて

- ・令和8年度は車両を準備し、停留所の看板設置等を進めていく。車両の納車後には、運転手への研修や試走を行い、運行開始に向けて調整する。
- ・保護者向け説明会を複数回設けながら対象者の確認を行い、2月までにルート、ダイヤ、乗降場所、バスの利用方法等の詳細を決定する。
- ・3月の車両納車後に、テスト運行を実施し、乗車を体験していただく機会を設けたいと考えている。

◇質問と回答

運行について	回答
スクールバスに乗り遅れた場合の対応はどうか。	スクールバスは定時運行となる。運行状況はシステムで確認できるようにするため、時間に余裕をもってバス停に到着するよう、ご協力をお願いしたい。乗り遅れてしまった場合は、ご家庭での対応となる。 なお、始発の停留所の出発時間を少し早めることで、各停留所での出発までの停車時間に余裕を持たせるなどの工夫は検討可能である。
下校時、放課後子ども教室がある時は、それに合わせて運行してくれるのか。	学校では様々な行事等により、下校時間は変動する。学校と調整しスクールバスの運行を組んでいる。基本的にはバスで下校できるよう調整していく。
登校後に警報が発令した時のスクールバスの対応は。	登校後に気象警報が発令された場合、まずは学校待機とし、安全に下校可能であると校長が判断できたら、事前に保護者と協議した方法で下校していただく対応となる。スクールバスについては、安全に運行できる状況であれば、当初の予定時刻を早めて運行することは可能である。
スクールバスに教職員は同乗するのか。携帯電話で連絡を取り合うことは可能か。	教職員の同乗は難しい。運転手には運行開始前にスクールバスに必要な適切な気づかいやコミュニケーションについて研修を行う予定である。 子どもに寄り添った対応ができるよう学校とも相談していく。 携帯電話の持ち込みは、新しい学校のルールによるが、導入予定のアプリではGPSによるバスの位置確認やQRコードによる乗降記録の確認ができるようになる予定である。
バスに乗っていて急にトイレに行きたくなくなった場合はどうか。	スクールバスは基本的に定時運行となり、ルート上に利用できるトイレもないため、家を出発する前にトイレを済ませていただくようお願いしたい。もしもの場合、登校時、新小学校の停留所に到着した際のサポート、座席指定の配慮等、できることについては、学校、ご家庭と連携しながら対応させていただく。
乗車中の保険についてはどのようになるのか。	車両のリースにあたり、保険の加入を要件に入れる。
事情によりスクールバス通学の児童が、スクールバス以外の方法で通学する場合、何かあった時に保険は適用されるのか。	事前に学校が承認している通学ルート、通学方法であれば、補償の対象として検討できる。
西ルートで朝時間帯に交通規制があるが問題ないのか。	バスの運行にあたり警察と協議し、安全な運行ができるよう相談を進めていく。
東ルートの飯守町バス停付近は歩道やガードレールが少なく、交通量も多いため、川上町東バス停の方が見通しもよいのではないか。	飯守町バス停は、バス停車時に後続車両の妨げにならないスペースがあるため提案させていただいた。川上町東についても、バス停車時の交通への影響を確認し、どちらがより安全か検討する。
今後、児童数が増減した場合、バスのルートやダイヤが変わることはあるか。	年度ごとに状況を確認し、必要があれば変更を検討する。学校のスケジュールや行事に合わせて毎月調整を行い、情報を共有していく。
佐保小学校区の遠距離通学となる児童もスクールバスを利用するのか。	今回のスクールバスは、統合によって新たに遠距離通学となる方を対象としている。ももとの佐保小学校区で遠距離の方は、公共交通機関の利用となるが、定期代の全額補助等の対応を検討中である。
スクールバスはマイクロバス2台となっているが、もう1台増やして3台にしてほしい。なぜ2台で渋滞が緩和できるか理由がわからない。	10人乗り車両3台の場合、渋滞時にダイヤ通り運行できるかなどのご意見があり、マイクロバス2台による1巡運行案とした。
観光地なので渋滞が起きると思う。スクールバスが遅延した場合はどうか。	バスが大幅に遅延した場合は、運転手から学校に連絡し、保護者へのご連絡が必要な場合には、さくら連絡網等により連絡する。

今後ミニバンタイプでの2巡運行は検討するのか。	試走の結果、教育委員会としては1巡運行が現実的と考えている。また、1巡運行を確実にするために、ミニバンの次に大きいマイクロバス車両を提案している。
スクールバスがマイクロバスになるのであれば、遠距離通学に限らず希望者を対象に運行した方がいいのではないか。ある程度の負担金額が発生したとしても、そちらの方が不満は少ないと思う。	まずは通学距離が1.8km以上となる児童がもれなく乗車できることが重要である。現時点で距離にかかわらず希望する児童全員について対応すると答えることはできない。
スクールバスを利用するのに、費用がかかるのか。外部に委託することがあっても、負担は生じないか。	スクールバスに関しては無料となる。
運転手はこれから募集するのか。	市の職員で対応する予定である。
スクールバスで通学する児童が学校を欠席することになった場合、運転手への連絡はどのようになるのか。	スクールバスの位置情報・乗降確認システム上で保護者が欠席の連絡を登録していただき、システム上で運転手が確認する形を想定している。

統合再編・新小学校等について	回答
説明会を平日昼などの時間帯にも開催することはできないのか。	今回はPTAからの要望もあり、二日間開催時間を変えて実施した。今後説明会を開催する際にもPTAと協議し、より多くの方に参加いただけるよう柔軟に対応する。
解体工事が終わってからの統合ではだめなのか。	新校舎の建設は順調に進んでおり、令和9年3月には完成予定である。新しい校舎で新しい教育をスタートさせ、児童の教育環境を替えていきたいと考えている。工事全体の完了は令和10年度中を予定しているが、安全性を確保した上で令和9年4月に開校する予定である。
新しい小学校でのプールの授業や運動会はどのようになるのか。	プールの授業については、民間施設に委託している。専門の指導員が教えることによる教育的なメリットに加え、人の目が増えることで安全性の向上が図れる。運動会については、グラウンドの制限がある間は、ロートアリーナでの開催となる予定である。現在、佐保小学校においても、天候に左右されることなく、子どもたちが十分に活動できる内容となるよう工夫いただいている。
校舎の解体工事に伴うアスベストや騒音の心配はないか。	調査の結果、飛散性の最も低い「レベル3」のアスベスト含有が確認されている。飛散しないよう十分に湿潤させた上で、手作業による丁寧な撤去を行っているため、空中に飛散することはない。これまで奈良市で行った同様の工事で健康被害が出た事例はなく、細心の注意を払っている。騒音についても、学校環境衛生基準を極力下回るよう、防音シートの設置や散水作業を行いながら、影響の低減に努めている。
鼓阪地域の保護者が新小学校に行事や参観で訪れる際の交通手段はあるのか。	原則として行事や参観の際に自家用車で学校に来ていただくことは認めていないため、公共交通機関や自転車等を利用していただくか、自家用車を利用される場合には近隣のコインパーキング等に停めていただく形となる。
今回の説明会での質問等は6月の予算確定に反映されるのか。	令和8年奈良市議会6月定例会に、新小学校開校に関する学校設置条例及び令和8年3月定例会で否決されたスクールバス関連費用等を提出する予定である。
統廃合の是非を含めた話し合いができていないと認識しているが、教育委員会の見解は。	教育委員会としては、統廃合を進めていきたいと考えている。それに至る過程で、一つ一つの問題点をクリアしながら進めていくことが、教育委員会としての合意形成であると認識している。
通学児童のための通学路の整備は、いつ頃話し合いがあるのか。	日時は未定だが、令和8年度も令和7年度と同様の形で安全点検を行う。学校、保護者、地域の方と話しながら安全対策を決定し、開校に向けて進めていく。

<p>鼓阪小学校と佐保小学校の交流について、本質的な目的を果たすための交流内容と思えないが、交流の内容をどのようなものにするか、児童や保護者から意見を聞く機会はあるか。</p>	<p>内容については両校の同じ学年同士で話し合いをして計画を立てている。当初は関係づくりのための遊びから始めたが、徐々に学習面など内容を深めていく予定である。</p>
<p>現状の不安や意見を吸い上げるためのアンケートや話し合いの機会を設ける予定はあるか。</p>	<p>説明会に来られない方もいるので、問い合わせ用のアンケートフォームを作成している。</p>
<p>新校名が決定される正式なプロセスを教えてください。</p>	<p>開校準備委員会で保護者や子どもたちを含めアンケートを取り、「若草小学校」という案を教育委員会に提案いただいた。それを受け、教育委員会において、学校設置条例改正の議案を令和8年奈良市議会6月定例会に提出する予定である。</p>
<p>開校準備委員会と奈良市教育委員会の関係性と位置づけを示していただきたい。</p>	<p>新小学校の開校準備委員会は、地域の方々の意見などを取りまとめ、教育委員会に提案いただく役割を担っている。また、開校に向けて協議した内容を地域や保護者の方々に周知していただく役割もある。</p>
<p>鼓阪小学校が閉校したあと、地震などの災害があった場合の避難先はどこになるか。</p>	<p>講堂は避難所として現在も指定されており、引き続き使用可能である。</p>
<p>鼓阪小学校が閉校したあと、跡地は何になるのか。</p>	<p>現時点では決まっていないが、講堂部分については建築物としての文化的価値もあるため、活用する方針である。</p>

保護者からの意見	
<p>議会での予算否決に関連して、「合意形成」という言葉が一人歩きしている気がする。保護者の意見が異なる中で、一部の意見だけで予算が削られたりすることに不安を感じる。</p>	
<p>スクールバスについて保護者負担がないことを明記してほしい。</p>	
<p>スクールバスは子どもに直接関わることであるにも関わらず、否決を決めた議員が説明に来ないことに疑問を感じる。</p>	